

9月定例会
総括質問
 主な質問と答弁

平塚クラブ

岩田 耕平 議員

ツインシティ整備事業

問 地元さまざまな意見がある中で、市長はこの事業をどのように理解しているのか。

市長 事業に対する疑問や不安を持っている方もいることは承知している。大地区土地区画整理組合設立準備会では、地権者との合意形成を図るため、戸別ヒアリングの場で事業に対する疑問や不安に答えるとともに、土地活用などの意向の把握を行っている。第2回ヒアリングでは、土地活用の意向について回答した約85%の方は、検討中の方も含め、市街化区域編入による都市的な土地利用に賛同していると判断している。

市長 新幹線新駅の誘致については、JR東海が消極的であるとの新聞報道があったが、リニア中央新幹線の開業後は列車ダイヤの過密度が緩和されるため、新駅設置の余地が高まるという認識を示している。県ではまちづくりと歩調を合

わせて、「ツインシティ橋」の整備を表明している。
問 概算事業費として約220億円の金額が提示されたが、どのように検討したものなのか。

市長 準備会や、その内部組織である部会の中で検討中の金額を示した。

問 関係者にリスクを知らせるべきである。事業費や計画の妥当性の説明責任を果たすための情報提供が必要ではないか。

市長 地権者に事業リスクや事業内容などをしっかりと

出縄 喜文 議員

湘南海岸公園の再整備について

問 再整備によりどのような市民サービスの向上を目指すのか。また、利用者の拡大については、どのような構想があるのか。

都市整備部長 すでにパブリックコメントによる意見の聴取をしている。だれもが楽しめる憩いの場となる公園づくりを目指すとともに、魅力ある催しを開催することで利用者の拡大を図れると考えている。

問 パブリックコメントでは極めて異例なほど多くの意見をいただいております。市民の関心が非常に高いことを示していると思う。さらに今後の市民とのコミュニケーションについてはどう考えているのか。

説明し、理解していただく必要があると考える。準備会では説明会や戸別ヒアリングを実施しているほか、機関誌を活用し、広く情報の提供を行っている。

ツインシティ計画は財政的に大丈夫か

問 新聞報道で、新幹線新駅の建設費などに対する平塚市長、県知事、寒川町長のコメントが出ている。財政的な見解を求める。

市長 新幹線新駅の誘致は東海道新幹線新駅設置促進

都市整備部長

市民の意見については、取り入れる部分は取り入れ、実施計画に移していきたい。

問 市民の関心が非常に高い事業であるにもかかわらず、パブリックコメントですべての意見を聴取したとする決着のつけ方に強く疑問を感じる。

都市整備部長 パブリックコメントで得た意見がすべてではないが、一定の方向を表すものであると考えている。

総合公園駐車場の有料化について

問 駐車場の有料化は、現在の利用者を排除することになりかねない。有料化で総合公園の利用者が増えると考えているのか。

都市整備部長 イベント開催時の慢性的な渋滞の解消や、適正な受益者負担、公園利用者以外の使用防止、

期成同盟会で進めており、新駅設置の負担額についても同会の中で検討されるものと考えている。県や寒川町、そして期成同盟会の会員市である平塚市をはじめとする各自治体が、それぞれ自分の負担を検討する必要があると認識している。

問 市長と、知事の考え方に温度差があると思う。また、市が提示したツインシティ整備計画の内容では、計画の実現に向けて不十分である。この地域に「さがみロボット産業特区」や「エコまち法」による新しい魅力づくりを提案する。

市長 知事は「駅を造って

から魅力を持たせるのではなく、駅が来たがるまちを造る」との考えである。道路インフラの整備状況なども踏まえ、「さがみロボット産業特区」などは県央の活性化に大きく関与してくると思う。また、知事は環境についていろいろと思いを持っている。私も環境に配慮したまちづくりを実現すると話しており、知事の考えと大きな相違があるとは感じていない。大地区が平塚市や県にとって重要なまちであると市民に理解してもらうため、丁寧に説明をし、事業を進めることが私の考えである。

望まれる農業振興

問 産業振興部長が考える農業の活性化とはどのようなものか。

産業振興部長 農家の方一人一人が、しっかりと、安心して生活を送ることができ

る収入を得られるようにすることである。
問 農業者に、生産額や農業収入を増やす手だてについてアドバイスができるような農業コンサルティングが必要であると考えているが、見解を伺う。

産業振興部長 農業者に対するさまざまなコーディネートや「ネット」や「コンサルティング」は必要だと考えており、今後、仕組みの中でしっかりと整理したい。

常任委員会の議案審査の概要

都市建設常任委員会

議案4件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

◆主な質疑

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

問 道路の補修に関して、財源を安定して確保するために、保全基金を設ける用意はあるか。

答 今は市費で対応していきたい。今後、国に対して防災・安全交付金の申請を考えていることから、基金を設ける考えはない。

問 ツインシティ整備推進事業に1億2600万円が計上されているが、土地区画整理組合設立準備会に補助金を支出する理由と妥当性について伺う。

答 準備会への助成については、助成要綱第4条の「調査補助」が該当する。組合を設立するための調査に要する費用として、組合施行の土地区画整理を実施しようとする者に対して補助金を交付するものである。

問 今後40億円を助成していくということだが、助成要綱にある実績報告書に加え、詳細な収支報告書の提出はあるのか。

答 助成要綱第12条にある「市長が必要と認める書類」については、実績を証する契約書や成果品の写しなど

を考えており、それに基づき支払うことになるが、収支報告についても支払いが終わった段階で確認する。

問 ツインシティ整備推進事業のアドバイザーは、どのような責任を負うのか。

答 アドバイザーは、医者という「セカンド・オピニオン」のようなもので、事業を担う方々が事業の方向を判断するために必要だと

考えている。また、アドバイザーは事業を完了させることが基本的な役割であり、その責任については十分に知ってもらう必要がある。

問 消防費で、火災発生時に使用する泡消火薬剤を補充する予算を計上しているが、備蓄基準はあるのか。

答 国が示す「消防力整備指針」があり、危険物施設や貯蔵取り扱い数、危険物の種類などを勘案して必要な量の消火薬剤を備蓄することが規定されている。ただし、明確な算定基準は示されていない。

教育民生常任委員会

議案2件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

◆主な質疑

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

問 教育費を増額し、中学校の昼食に「業者弁当」を導入するが、栄養面での指導にどう関与していくのか。

答 市が人件費を負担することになれば、その分の金額を献立に反映してもらったり、一日の食事の中で栄養バランスがとれるよう、日ごとの食事や食教育の情報提供をしたりしながら事業を進めていきたい。

問 公民館の修繕に2630万円という大きな増額補正を行うが、なぜこの時期

に行うのか。

答 当初予算で要求したが、計上されなかった。しかし来年度は消費税増税の話があることから、ここで補正計上した。

問 スポーツ施設における公共施設予約システムを改修するために210万円の増額補正をしているが、内容を聞きたい。

答 平成26年度から大神スポーツ広場の利用を有料化する。現在、大神スポーツ広場と軟式庭球場は利用料金を利用申し込み時に支払っていたが、それを利用当日払にするため、公共施設予約システムのプログラムを改修するものである。

点字版議会だより
声の議会だより

ご利用ください



平塚市議会では、目の不自由な方に向け、「点字版議会だより」と音声版「声の議会だより」を発行しています。

問 議会局 (☎21-8791)

※1 さがみロボット産業特区：神奈川県がさがみ縦貫道路沿線の9市2町に設けた、生活支援ロボットの活用や普及を促進し、関連企業の集積を進める地区。
 ※2 エコまち法：「都市の低炭素化の促進に関する法律」の通称。都市機能の集約や公共交通機関の利用促進、建築物の低炭素化などの施策の普及を目的とする法律。